

## 【韓国】河野談話検証を糾弾する決議の採択

九州大学アジア太平洋未来研究センター助教 菊池 勇次

(本稿は、海外立法情報課が執筆を依頼したものである。)

\* 2014年9月30日、韓国国会本会議において、日本政府による河野談話検証を糾弾し、慰安婦問題について国際世論を通じた圧力を強化するよう韓国政府に求めること等を骨子とする「日本政府の河野談話検証結果発表糾弾決議」が全会一致で採択された。

### 1 背景及び経緯

2014年6月20日、日本政府は、「慰安婦関係調査結果発表に関する河野内閣官房長官談話」(いわゆる河野談話。1993年8月4日発表)に関し、「河野談話作成過程等に関する検討チーム」による検討結果をまとめた報告書「慰安婦問題を巡る日韓間のやりとりの経緯～河野談話作成からアジア女性基金まで～」を発表した。これに対して韓国政府は、6月23日に趙太庸(チョ・テヨン)外交部第1次官が別所浩郎駐韓日本大使を召致して「安倍政権が河野談話を毀損すればするほど、安倍政権の信頼と国際的な評価に傷をつけるだけだ」と抗議し、外交部報道官は6月24日、「河野談話を継承すると言いながら、作成過程について検証するという姿勢が果して妥当なのか。矛盾した行為ではないのか」と批判した。

次いで、韓国国会外交統一委員会は6月30日の委員会において、本来の議事日程にはなかった「日本政府の河野談話検証結果発表糾弾決議案」を追加上程した。同決議案は、検証結果発表を受けて与野党の委員会幹事(日本の筆頭理事に相当)が協議して文案を作成したものであり、委員会の審査では特に質問が出ることもなく直ちに議決され、7月4日に同委員長を提出者として本会議に送られた。

また、国会北東アジア歴史歪曲対策特別委員会も7月4日の委員会において、検証結果発表に関する公聴会を開くとともに、与野党の委員会幹事が文案を作成し、各委員の意見を取りまとめた「安倍政権による河野談話の精神毀損に対する糾弾及び慰安婦問題解決のための対策策定決議案」を上程した。同決議案は、河野談話検証を糾弾するという点では外交統一委員会案と同様であるが、それに加え、竹島、歴史教科書、集団的自衛権の行使容認、靖国神社参拝等についても安倍政権を批判し、安倍政権に対してあらゆる手段と対策を講じる旨宣言すること等を骨子としている。委員会の審査では質問が出ることもなく直ちに議決され、7月7日に同委員長を提出者として本会議に送られた。

その後、本会議が開かれない状況が続いていたが(本誌前記事参照)、9月30日に開かれた本会議において、北東アジア歴史歪曲対策特別委員会案は採決せず、外交統一委員会案のみを採決し、全会一致で採択された。(以下筆者翻訳)。

## 2 決議の全文

### 主文

大韓民国国会は、6月20日に日本の安倍晋三内閣が日本軍の慰安婦強制動員を認め、これに対する謝罪の意思が含まれている「河野談話」(1993年8月4日、河野洋平内閣官房長官が発表した談話)に対する検証結果を発表した行為は、談話の本質を歪曲し、韓日間の信頼を損ね、反人倫的な人権侵害の事実を否定しようとする試みであるという点からこれを強く糾弾し、

慰安婦強制動員は、国連の人権機構並びに米国及び欧州連合(EU)等、主要国議会の決議においても認められた明白な戦争犯罪であるにもかかわらず、日本政府がこれを否定し、歪曲しようとする試みを行っていることに対し、これを直ちに中止するよう求め、「検証」という名目の下に慰安婦被害者を再び傷つける行為は、国際社会が決して容認しないであろうと嚴重に警告するため、次のとおり決議する。

1. 大韓民国国会は、日本政府が20年余りの間、日本軍慰安婦問題に対する公式の立場として尊重し、堅持してきた河野談話の作成経緯を検証し、その本質を否定しようとするのは、自己矛盾となる行為であるのみならず、東アジアの平和的共存と協力を損ねる行為と規定し、これを糾弾する。
2. 大韓民国国会は、日本政府が河野談話に対する検証を名目に慰安婦動員の強制性を否定するのは、人類の普遍的人権を脅かすものであり、また別途の歴史挑発行為であると規定し、日本政府が外交記録に対する一方的な解釈を通じて河野談話を韓日の外交的妥協の産物に格下げしようとする行為を直ちに中止するよう求め、こうした歴史歪曲行為は、国際社会での孤立と逆風を招くであろうと警告する。
3. 大韓民国国会は、河野談話は日本政府の自主的な調査及び判断に基づいて、自らの責任の下に発表した文書であり、韓日の交渉の産物ではないという点を明らかにし、日本政府が上記検証結果を通じて河野談話の重要な土台である慰安婦被害者の証言の重要性と信頼性を貶め、河野談話の作成経緯とは何ら関連がない「アジア女性基金」問題を扱い、慰安婦問題の解決に失敗した責任を韓国に転嫁しようとする試みは、韓日関係の安定に重大な脅威をもたらすであろうと警告する。
4. 大韓民国国会は、日本政府が慰安婦被害者問題に対する責任を明確に認め、速やかにその解決策を提示するようにさせるため、我が政府が慰安婦強制動員の真相をより明確に糾明し得るさらなる史料の発掘及び公刊をはじめ、日本政府の時代錯誤な歴史歪曲に対して体系的かつ多角的に対応し、国際世論を通じた圧迫を強化していくよう求める。

参考文献(インターネット情報は2014年10月21日現在である。)

- ・외교부「정부 “고노담화 한일간 교섭내용 공개 거부감”」  
<<http://korea.kr/policy/diplomacyView.do?newsId=148780485>>
- ・「일본 정부의 고노 담화 검증 결과 발표 규탄 결의안」  
<[http://likms.assembly.go.kr/bill/jsp/BillDetail.jsp?bill\\_id=PRC\\_P1A4U0Y6V3H0F1Y4D0N1T4W2U4I1W7](http://likms.assembly.go.kr/bill/jsp/BillDetail.jsp?bill_id=PRC_P1A4U0Y6V3H0F1Y4D0N1T4W2U4I1W7)>
- ・「아베 정권의 고노담화 정신 훼손에 대한 규탄 및 위안부 문제해결을 위한 대책 마련 결의안」  
<[http://likms.assembly.go.kr/bill/jsp/BillDetail.jsp?bill\\_id=PRC\\_L1F4F0B7F0P3M2S1V3X3Q5A5K3N2O5](http://likms.assembly.go.kr/bill/jsp/BillDetail.jsp?bill_id=PRC_L1F4F0B7F0P3M2S1V3X3Q5A5K3N2O5)>